

様

平成26年度

循環型社会形成推進交付金に関する要望書



平成25年11月

北 海 道

北 海 道 市 長 会

北 海 道 町 村 会

廃棄物処理施設は、廃棄物の再資源化、適正処理を積極的に推進し、循環型社会の形成を図っていく上で必要不可欠なものであり、地域におけるごみ処理に支障を来すことがないように、円滑な整備を着実に進めていく必要がありますが、本道は、積雪寒冷地であることに加え、広大な面積を有していることから、廃棄物の広域的な処理体制の構築が困難な場合があるなど、他都府県にはない課題があります。

また、生活排水処理対策を推進するに当たって、広大な面積を有する本道で、人口密度が低い地域での下水道による集合処理は、経済面・効率面で不利なことから、浄化槽整備を一層推進していく必要があります。

しかし、循環型社会形成推進交付金の本道への平成25年度の予算額は地元要望額28億7千万円に対して約66%の充実に留まっており、また、このような中、平成26年度の要望額は約40億円に上る見込みとなっております。

つきましては、道内市町村等の財政を圧迫することなく地元要望額にできる限り添えるよう、今年度の循環型社会形成推進交付金の追加交付及び平成26年度予算の確保について、強く要望いたします。

北 海 道 知 事 高 橋 はるみ

北海道市長会長 石狩市長 田 岡 克 介

北海道町村会長 乙部町長 寺 島 光一郎

1 要望事項

(1) 平成25年度循環型社会形成推進交付金の追加交付

(2) 地元要望額を満たす平成26年度循環型社会形成推進交付金における当初予算の確保

■平成25年度予算額の状況 [表1] (単位：百万円)

	総額	通常枠	復旧復興枠	H24 補正
地元要望額	2,868	2,087	68	713
予算額	1,902	1,121	68	713

※市町村等の実施事業数

- ・ 廃棄物処理施設：16市町村等 23事業 (新規3・継続20)
- ・ 浄化槽：90市町村 90事業 (新規2・継続88)

■平成26年度地元要望額 [表2]

地元要望額(北海道分)	うち廃棄物処理施設	うち浄化槽
40.29億円	38.25億円	2.04億円

※市町村等の要望事業数

- ・ 廃棄物処理施設：17市町村等 25事業 (新規4・継続21)
- ・ 浄化槽：97市町村 97事業 (新規8・継続89)

2 要望に関する背景

- (1) 廃棄物の広域的な処理体制の構築には、広大な面積を有し、かつ、積雪寒冷地である北海道の地域特性から、他都府県にはない課題がある
(例えば輸送距離が長いこと、積雪により長距離の輸送が困難となること等)
- (2) 人口密度が低い地域での下水道等の集合処理は、経済面・効率面で不利であることから、浄化槽の整備促進が必要である
- (3) 平成25年度の交付金については、表1のとおり地元要望額に対して予算額が66%に留まっており、市町村の財政を逼迫させないよう追加財源措置が必要である
- (4) 平成26年度の地元要望額は40.3億円となっているのに対し、国の概算要求額は約17.7億円となっていることから、要求どおりの予算額が確保されてもなお約22.6億円が不足し、市町村の財政を圧迫する事態となる

■ 循環型社会形成推進交付金に係る予算額等の状況 (道内分)

(億円)

